

※ 困難時届出受理番号

## 技能実習実施困難時届出書

令和4年8月8日

外国人技能実習機構 理事長 殿

届出者 R&Dソフトウェア協同組合  
代表取締役社長 山村 圭一

外国人の技能実習の適正な実施及び技能実習生の保護に関する法律第33条第1項の規定により下記のとおり技能実習を行わせることが困難となった場合の届出をします。

記

1届出者	①許可番号	222222222	
	(ふりがな) ②名称	あーるあんどでいそふとうえあきょうどうくみあい 450-0002	
	③住所	〒 450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅(その他) (電話 052-541-9871 )	
2 団体 監理型 実習実 施者	①実習実施者届出受理番号	1806000080	
	(ふりがな) ②氏名又は名称	かぶしきがいしゃ まるぼつしょうかい 株式会社 ○×商会	
	③住所	〒 476-0002 愛知県東海市名和町一番割下 x x x x (電話 0569-87-6543 )	
3 団体監理型技 能実習計画	①認定番号		
	②認定年月日		
	③技能実習の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 第1号団体監理型技能実習 <input type="checkbox"/> 第2号団体監理型技能実習 <input type="checkbox"/> 第3号団体監理型技能実習	
4 団体 監理型 技能実 習生	①氏名	ローマ字	PHAN THI NGOC ANH
		漢字	
	②国籍(国又は地域)	ベトナム	
③生年月日、年齢及び性別	平成4年12月24日 ( 29 才 ) 性別 ( 男 ・ 女 )		
5 団体監理型実習実施者からの通知の有無	<input type="checkbox"/> 有(通知日: ) <input type="checkbox"/> 無		

<p>6 技能実習を行わせることが困難となった事由並びにその発生時期及び原因</p>	<p><input type="checkbox"/> 監理団体の都合  (理由 <input type="checkbox"/> 監理許可の取消し <input type="checkbox"/> 監理事業の廃止  <input type="checkbox"/> その他 ( ) )</p> <p><input type="checkbox"/> 団体監理型実習実施者の都合  (理由 <input type="checkbox"/> 実習認定の取消し <input type="checkbox"/> 経営上・事業場の理由  <input type="checkbox"/> その他 ( ) )</p> <p><input type="checkbox"/> 団体監理型技能実習生の都合  (理由 <input type="checkbox"/> 病気・怪我 <input type="checkbox"/> 実習意欲の喪失・ホームシック  <input type="checkbox"/> 行方不明 ( 発生 )  <input type="checkbox"/> 本国の家族の都合  <input type="checkbox"/> その他 ( ) )</p> <p>上記事由の概要(発生時期、経緯、原因等)</p> <p>〔 当該実習生は技能評価試験に合格し、その後も実習先で技能の更なる習得に努めました。しかし、実習実施機関との協議の上、本人の希望もあり、実習を終了することとしました。 〕</p>
<p>7 団体監理型技能実習生の現状</p>	<p>①入国状況 <input type="checkbox"/> 入国前 <input checked="" type="checkbox"/> 入国済 ( 2017年3月 入国)  (「入国前」にチェックマークを付した場合は7②及び③は記載不要。)</p> <p>②住居の確保 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>③生活費等の確保 <input type="checkbox"/> 有(休業手当) <input type="checkbox"/> 有(雇用保険) <input type="checkbox"/> 有(生活費等) <input type="checkbox"/> 無</p> <p>②及び③の具体的状況等(支援実施者、受給開始日等)</p> <p>〔 〕</p>
<p>8 団体監理型技能実習の継続のための措置</p>	<p>団体監理型技能実習生の団体監理型技能実習の継続意思  <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>転籍等の連絡調整等の状況、帰国する場合はその理由や予定時期等</p> <p>〔 〕</p>
<p>9 備考</p>	

(注意)

- 1 ※印欄には、記載をしないこと。
- 2 3 欄及び4 欄は、認定を受けた技能実習計画が複数あり、同時に技能実習を行わせることが困難となった場合の届出をする場合であって、これらの欄にその記載事項の全てを記載することができないときは、同欄に「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。
- 3 4 欄の①は、ローマ字で旅券（未発給の場合、発給申請において用いるもの）と同一の氏名を記載するほか、漢字の氏名がある場合にはローマ字の氏名と併せて、漢字の氏名も記載すること。
- 4 5 欄には、団体監理型実習実施者からの通知の有無につき該当するものにチェックマークを付すこと。
- 5 6 欄には、届出に至った事由につき該当するものにチェックマークを付すこと（実習実施者の事業規模の縮小等を受けて、技能実習生本人が転籍等を希望している場合は、「団体監理型技能実習生の都合」ではなく、「団体監理型実習実施者の都合」の「経営上・事業上の理由」を選択すること）。また、その発生時期及び原因について具体的に記載すること。なお、技能実習生が技能実習の期間中に途中帰国する場合には、帰国の方針が決まった時点で、帰国日前に届け出ること。
- 6 7 欄の①から③までは、技能実習の継続が困難となった後、次の実習先が見つかるまでの間又は帰国するまでの間の団体監理型技能実習生の現状につき該当するものにチェックマークを付すこと。
- 7 8 欄の無にチェックマークを付した場合には、技能実習生に対し、意に反して技能実習を中止して帰国する必要があることの説明や帰国の意思確認を書面により十分に行った上、技能実習生が途中帰国する方針が決まった時点で、当該書面を添付した上で帰国する前に届け出ること。
- 8 9 欄には、届出に係る担当者の氏名、職名及び連絡先を記載すること。その他伝達事項があれば併せて記載すること。